

呉羽山の紅葉もみごろになりました。小春日和の日が楽しみのこの頃です。
今日は、久しぶりに古事記を読みます。

7月に近藤さんが提案されたヤマトタケルノミコトの内容を読んでみましょう。
皆さんから、もう一度読んでみたいところがあったら聞かせて下さい。

前回の提案、「マキムクの日代の宮」

・・・m—k音の意味を考える・・・

イズミさんからのご提案ありがとうございました。

興味深く、面白い提案内容でした。日頃余り関心のない分野で言葉について随分考えさせられました。イズミさんが長年粘り強く研究されている内容を分かりやすく教えていただきました。

◎ 一言感想

- ・「普段使いの中で、『オト』に対する意識が全くありませんでした。
陰と陽、天と地、オスとメス等々の相関から「マキムク」という音が発生したとのお話に眼から鱗の思いです。
アサヒという言葉は元来なかった! 驚きました。
- ・『万葉集』に歌われたマキムクについてのお話で、マキムクという言葉が柿本人麻呂の歌のみに確認されることを知り不思議に思いました。
- ・漢語と英語も合わせてその意味を音から考える事は語源が同一のものがあり、それぞれの地域で言葉が発生して進化してきたのか、遺伝子レベルからの性質から発生している音なのか興味深いお話でした。
- ・マキムクは単なる地名ではなく、おめでたい言葉で、「天と地」や「前方後円形」という意味があることを教えていただきました。マキムクという言葉が中国語や英語とも共通する意味があることを教えてもらいとても興味深く面白かったです。ありがとうございました。オトの意味を大事にしながらいろんな言葉をこれから理解していきたいと思いました。柿本人麻呂がマキムクをたくさん使った歌を作っているのもとても気になりました。
- ・マキムクとは自然観、前方後円墳は太陽と大地のイメージ。中国?から伝わったイメージの流れとしたら、前方後円墳はどういうイメージか?文化の流れ自体の差。言葉を細かく考えるということはいままでやってこなかったもので正直なところよく分かりません。

- 目で文字を追いながら聞くということは一方で考えながらなので読むだけでは理解できなかつたところがおぼろげながら全体としてつかめたようである。

眼からうろこ 「世界の流れの一環と考える」には衝撃であった。同じ年代には同じ考え方が世界を巡っていると考えられる。

- 高岡市万葉歴史館関主任研究員がいつもイズミ先生の論文に関心をもっておられます。
- 言葉を分解して意味を考えることの大切さを知った。

s—m → 鉄 m—k → 日代の宮 → 太陽→権力者

◎ 今回の感想や次回以降に読みたい箇所などありましたメモをしてお知らせ下さい。
